

2021年3月期決算 2022年3月期計画

挑戦と創造

2021年5月19日

アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

1. 2021年3月期 実績

2. 前中期経営計画 C&C2000 の振り返り

3. 新中期経営計画 Change&Grow2400 の策定

4. 2022年3月期 計画

【参考】 研究開発費、減価償却費、設備投資の推移

1. 2021年3月期 連結決算の概要

[単位：百万円]

	2020/3期		2021/3期				
	実績	率	計画	実績	率	伸率	達成率
売上高	191,501	－	174,500	174,628	－	▲ 8.8%	100.1%
営業利益	20,850	10.9%	16,500	17,991	10.3%	▲ 13.7%	109.0%
経常利益	21,333	11.1%	17,000	18,438	10.6%	▲ 13.6%	108.5%
当期純利益※	12,732	6.6%	10,000	10,759	6.2%	▲ 15.5%	107.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

[一株当たり単位：円]

ROE	9.9%	-	7.6%	8.1%	-	-	106.6%
一株当たり純利益	195.01	-	153.15	164.79	-	-	107.6%
一株当たり株主資本	1,994.03	-	2,025.87	2,064.24	-	-	101.9%

1. 2021年3月期 連結決算の概要

伸び率	通 期	下 半 期
売 上 高 ▲ 8.8%	11期ぶりの減収	▲ 3.0%
営 業 利 益 ▲ 13.7%	12期ぶりの減益	9.8%
経 常 利 益 ▲ 13.6%	12期ぶりの減益	10.0%
当期純利益※ ▲ 15.5%	2期連続減益	13.3%

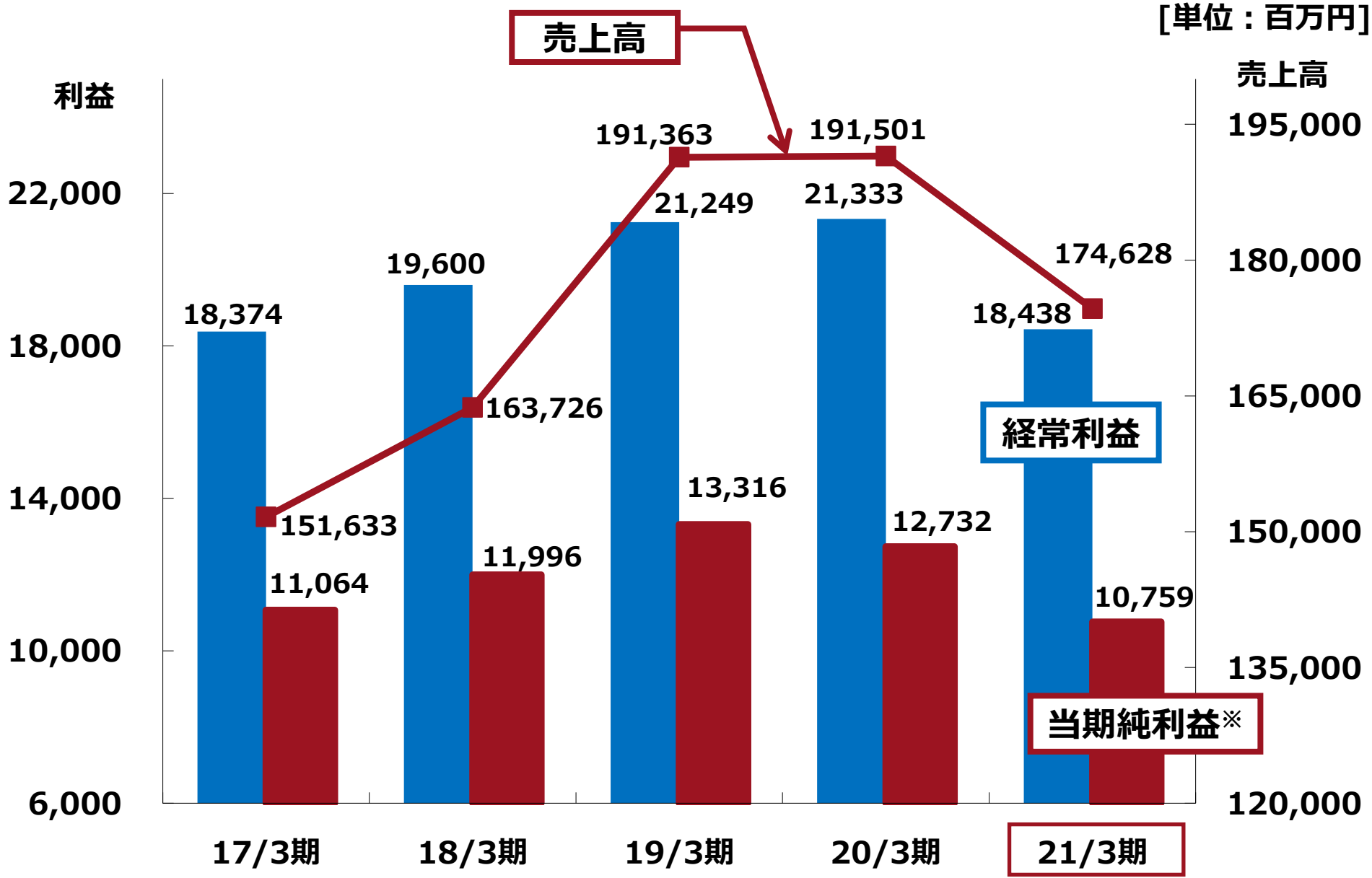
※親会社株主に帰属する当期純利益

下半期の営業利益・経常利益は過去最高を更新

- 国 内 事 業：新型コロナウイルスの影響により、建装・建材事業、化成品事業ともに低調
- 海 外 事 業：新型コロナウイルスの影響により、アジア各国で需要が低迷
ウィルソナート社やAHT社※の新規連結効果によりアジアにおける化粧板販売増加

1. 過去5年間 連結決算の推移

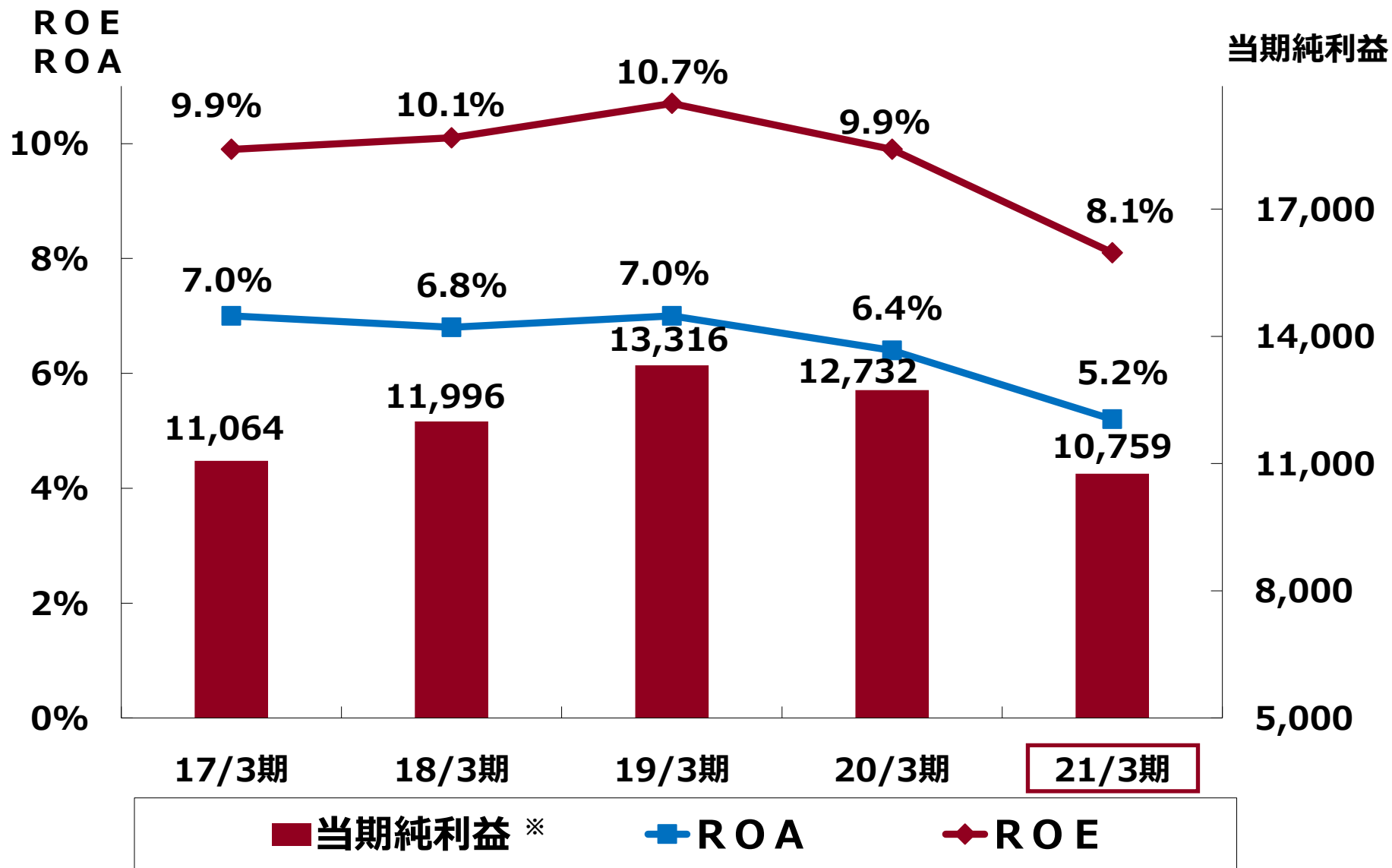
[単位：百万円]



※親会社株主に帰属する当期純利益

1. 過去5年間 ROA・ROEの推移

[単位：百万円]



※親会社株主に帰属する当期純利益

1. 2021年3月期 主要項目の状況

	2019/3期	2020/3期	2021/3期
	連結	連結	連結
期 末 人 員	3,920人	4,781人	4,796人
(国 内)	1,603人	1,625人	1,607人
(海 外)	2,317人	3,156人	3,189人
借 入 金 残 高	52.9億円	71.9億円	75.0億円
研 究 開 発 費	32.0億円	34.5億円	33.2億円
減 価 償 却 費	41.7億円	46.3億円	56.8億円
設 備 投 資 額	78.9億円	71.3億円	61.1億円

【設備投資の主なもの】

建装建材セグメント

- ・アイカテック建材の生産設備増強
- ・アイカインドネシア社の土地購入

化成品セグメント

- ・福島危険物自動倉庫
- ・AAP中国設備増強費用

1. 2021年3月期 セグメント別実績

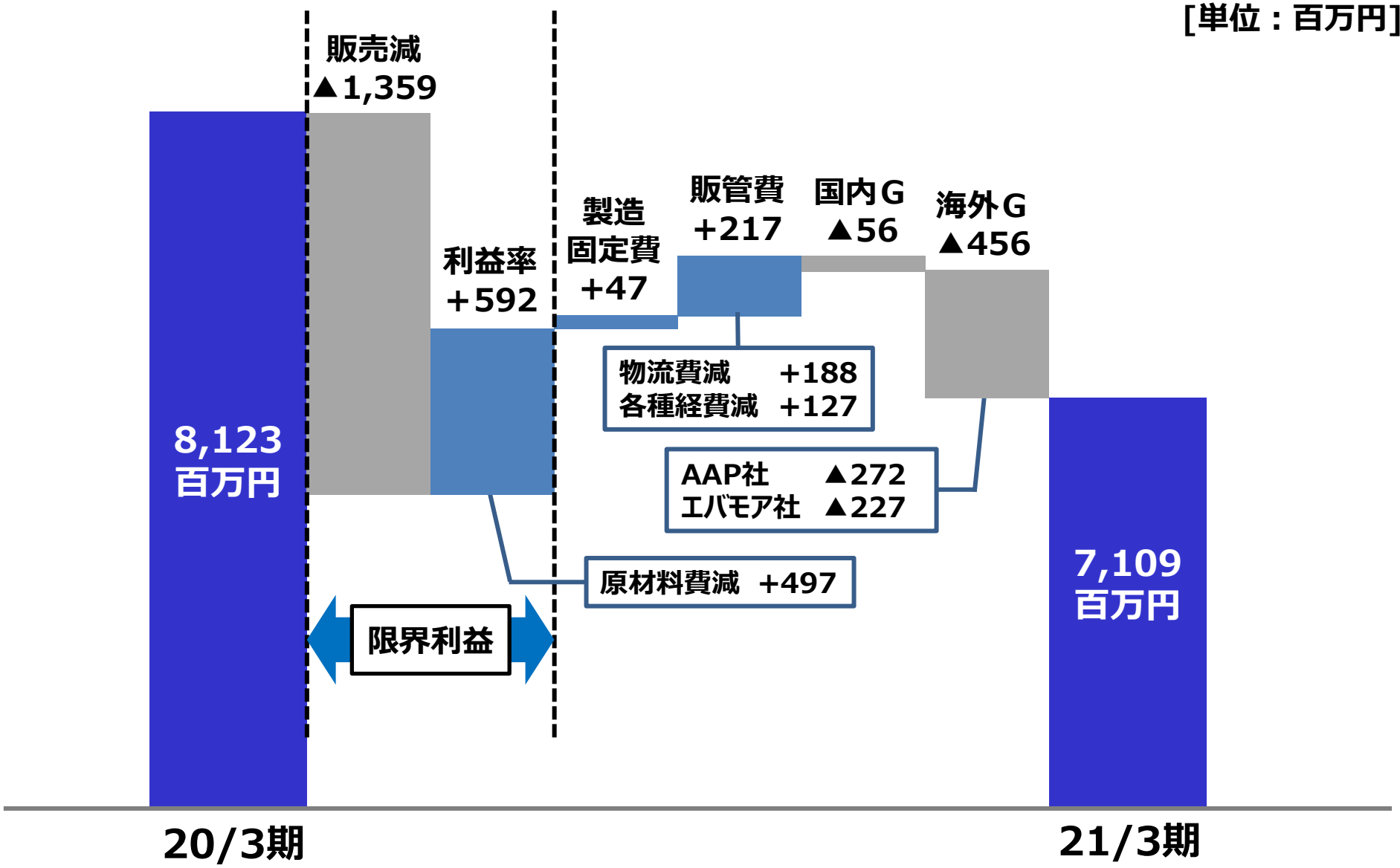
[単位：百万円]

	売上高			営業利益			
	2020/3期 実績	2021/3期 計画	2021/3期 実績	2020/3期 実績	2021/3期 計画	2021/3期 実績	
化成品	103,945	89,400	90,446	8,123 7.8%	6,600 7.4%	7,109 7.9%	金 額 利 益 率
建装建材	87,555	85,100	84,182	15,874 18.1%	12,550 14.7%	13,751 16.3%	金 額 利 益 率
(配賦不能営業費用→)				▲ 3,147	▲ 2,650	▲ 2,869	金 額
合計	191,501	174,500	174,628	20,850 10.9%	16,500 9.5%	17,991 10.3%	金 額 利 益 率

1. 利益増減（化成品） <20/3期 vs.21/3期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位：百万円]



1. 化成品セグメント 商品群別売上実績

	2020/3期	2021/3期			
	実績	計画	実績	達成率	伸率
接着剤	636.4億円	548.5億円	543.2億円	99.0%	▲ 14.6%
AAP	498.0億円	420.0億円	420.2億円	100.0%	▲ 15.6%
建設樹脂	93.8億円	83.2億円	86.3億円	103.7%	▲ 8.0%
機能材料	207.0億円	159.5億円	168.2億円	105.5%	▲ 18.7%
その他	102.1億円	102.6億円	106.7億円	104.0%	4.5%
合計	1,039.4億円	894.0億円	904.4億円	101.2%	▲ 13.0%

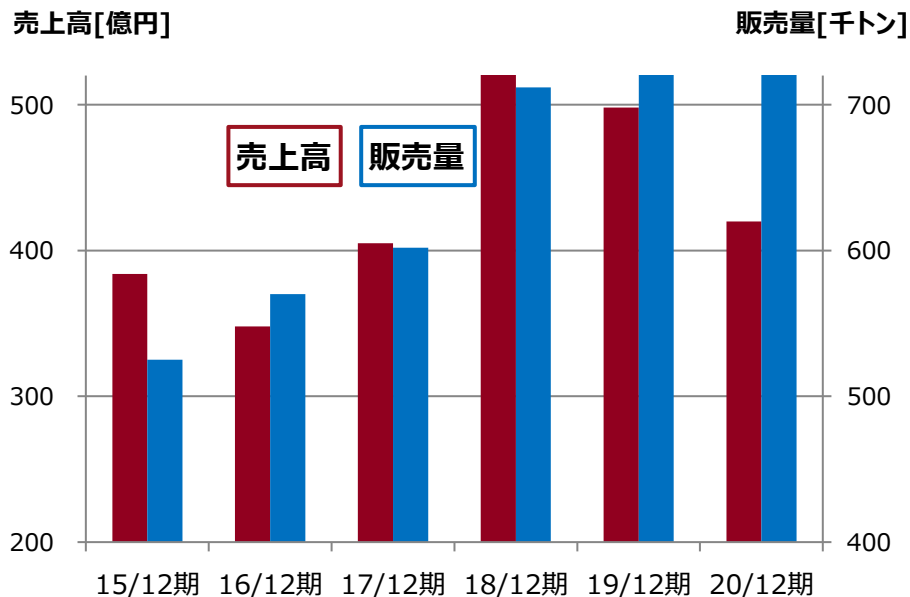
※AAP : アイカ・アジア・パシフィック

1. 化成品セグメント 実績（接着剤海外）

接着剤海外：低調

- 原材料価格低下による売価低下と新型コロナウイルスの影響により減収
- ・AAP売上▲16%、販売量▲2%

アイカ・アジア・パシフィック(AAP)の売上・販売量の推移



中国

- 第1四半期低迷するも第2四半期以降回復
- 竹材用フェノール樹脂 好調

インドネシア

- 新型コロナウイルスの影響により第2四半期で大きく低迷。その後も回復鈍い

タイ

- 売価低下の影響大きく減収も販売量は増加

ベトナム

- 第2四半期低迷するも第3四半期以降回復
- 繊維板用樹脂 好調

接着剤海外 売上高： 420億円（対前年 84.4%）

新型コロナウイルスの影響に加えて原材料価格低下による売価低下により減収

※AAP：アイカ・アジア・パシフィック

1. 化成品セグメント 実績（接着剤国内・建設樹脂）

接着剤国内：低調

■ 接着剤

- ・ 木工・家具用接着剤、施工用接着剤、集成材用接着剤などが低調

■ フェノール樹脂事業

- ・ 電子材料用途や合板用接着剤は伸長
- ・ 断熱材用途、建材用途などが低調



建設樹脂：低調

ジョリパット（塗り壁材）



■ 好調

- ・ ハウスメーカー向け 好調
- ・ 外断熱材 好調

ジョリエース（塗床材）



■ 低調

- ・ 工場・倉庫向け 低調
- ・ 住宅ベランダ用途 低調

ジョリシール/ダイナミックレジン（補修・補強分野）



■ 好調

- ・ シール材 低調
- ・ インフラ補修補強材 好調

接着剤国内 売上： 123億円 （対前年 88.9%）

建設樹脂 売上： 86億円 （対前年 92.0%）

1. 化成品セグメント 実績（機能材料）

ホットメルト・機能性アクリル



- 低調
 - ・衛生材用途 → 好調
 - ・ヘッドランプ用シール材 → 低調

有機微粒子



- 低調
 - ・化粧品用途 → 低調
 - ・LED向け光拡散材 → 低調

UV樹脂・シリコーン



- 好調
 - ・シリコーン → 低調
 - ・電子材料用途 → 好調

アクリル・コンパウンド



- 低調
 - ・手袋用途 → 好調
 - ・繊維用途 → 低調

エバモア社



- 減収減益
 - ・ウレタン製品 → 靴用途高付加価値品ベトナム向け低調
 - ・架橋剤 → 家具の塗料向け 低調
 - ・売上高： 85億円 営業利益： 4.9億円

機能材料事業売上：168億円（対前年 81.3%）

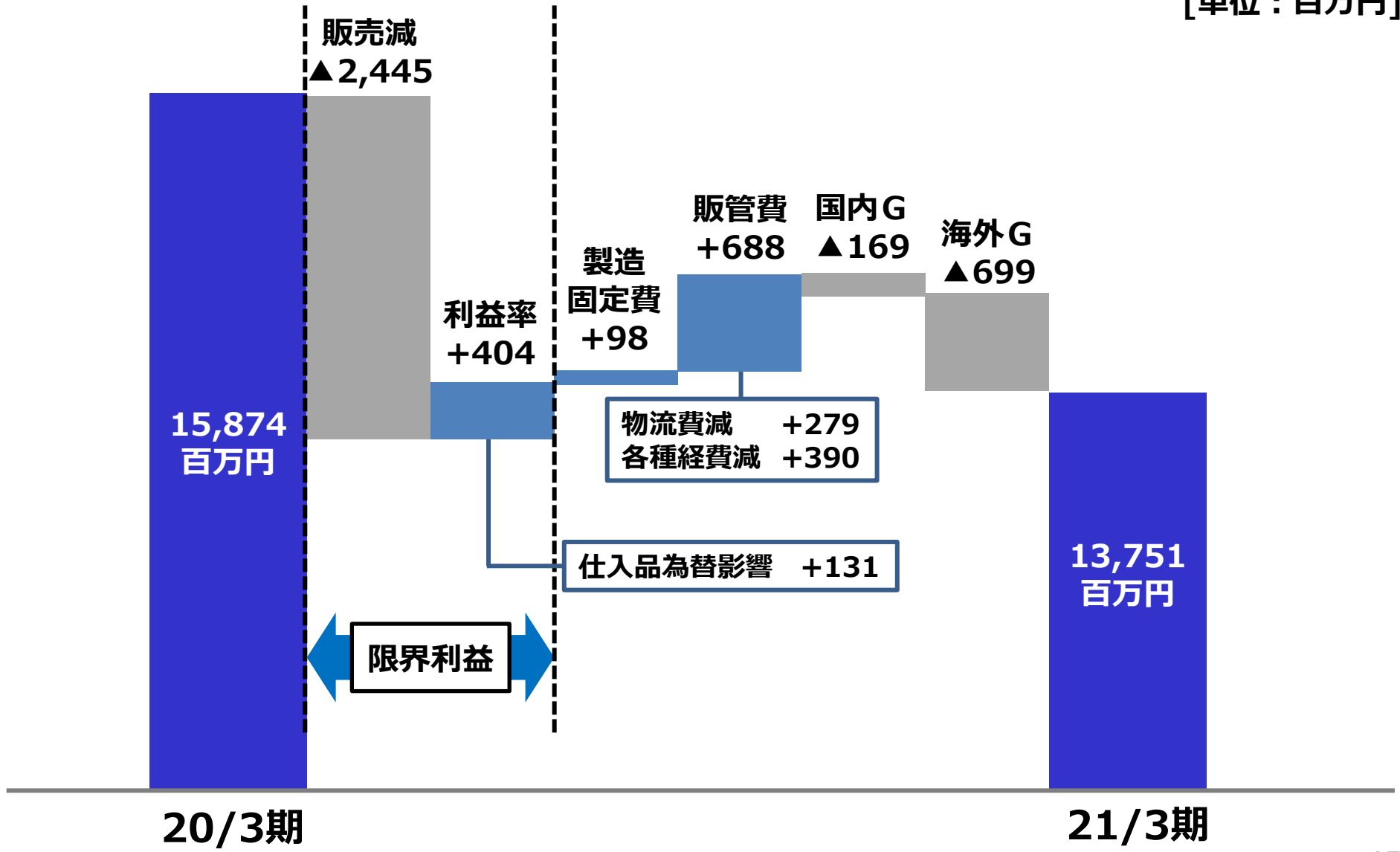
ホットメルト・機能性アクリル、有機微粒子、エバモア社・・・低調

※エバモア社：エバモア・ケミカル・インダストリー

1. 利益増減（建装建材）〈20/3期 vs.21/3期〉

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位：百万円]



1. 建装建材セグメント 商品群別売上実績

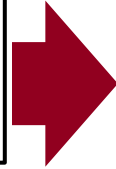
	2020/3期	2021/3期			
	実績	計画	実績	達成率	伸率
メラミン化粧板	195.1億円	228.1億円	242.2億円	106.2%	24.1%
ボード等 フォーム	131.7億円	109.5億円	111.9億円	102.2%	▲ 15.0%
セラール	210.0億円	196.6億円	191.9億円	97.6%	▲ 8.6%
不燃建材	115.3億円	89.4億円	82.3億円	92.1%	▲ 28.6%
カウンタート ポストフォーム	169.5億円	173.9億円	164.7億円	94.7%	▲ 2.8%
建具材 インテリア建材	53.7億円	53.2億円	48.6億円	91.4%	▲ 9.5%
合計	875.5億円	851.0億円	841.8億円	98.9%	▲ 3.8%

1. 建装建材セグメント 実績

■ 2021年3月期 国内建設市場の市場環境

・アイカ需要期へタイムラグ調整済み

期初予想※	住宅：▲5.6%	非住宅：▲6.7%
通期実績	住宅：▲9.3%	非住宅：▲9.1%



- ・住宅、非住宅ともに減少
- ・非住宅は、大都市圏を中心に店舗などが減少

※期初予想は、コロナ影響加味前の予想

■ 2021年3月期 好調であった商品

フィオレストーン



ファイン エクストラ シティ

事業主／京阪電鉄不動産株式会社

ウイルテクト



友善会 新発寒ファミリークリニック

モイス



建装建材セグメント売上高：841億円（対前年96.2%）

天然石の代替需要取込、ウイルテクト・モイスなど機能性商品が好調

1. 建装建材セグメント 実績 (海外)

メラミン化粧板 海外販売枚数の推移

新規連結会社が業績に寄与



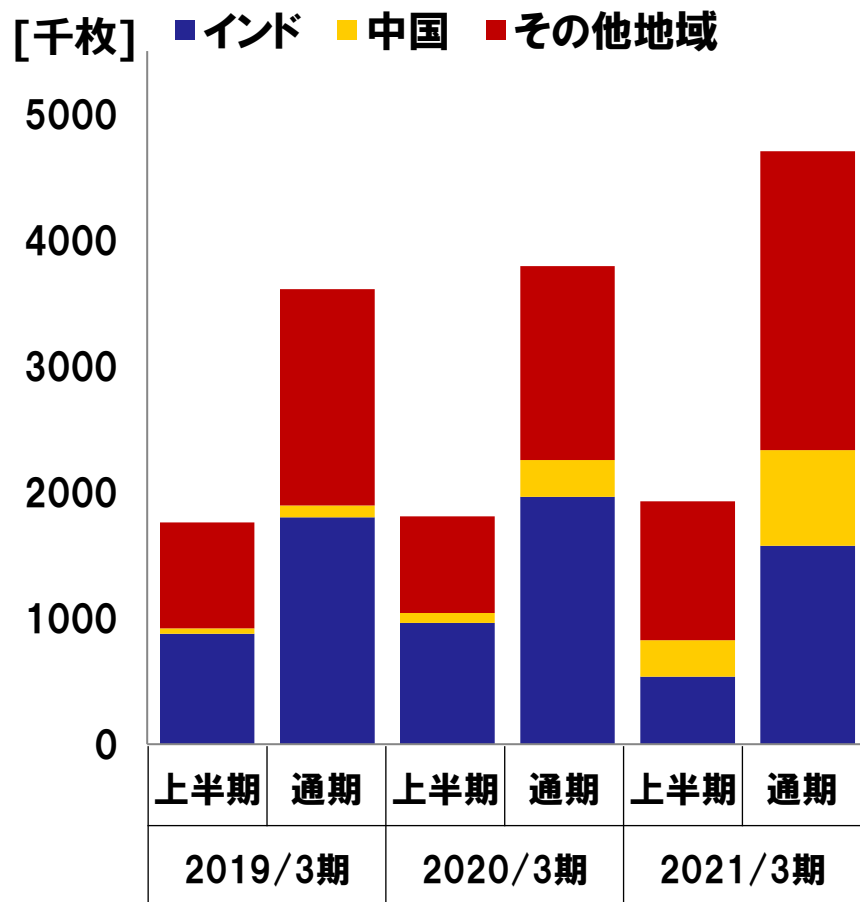
ウィルソナート4社(上海、香港、タイ、オーストラリア)

- ・ 2020年1月よりPL連結開始
- ・ 高いブランド力、アジア広域の販売網、アイカグループと補完性のある生産拠点を取得
- ・ 売上高：65億円



AHT社 (ベトナム)

- ・ 2020年3月より連結開始
- ・ ベトナムのHPLシェア3割の獲得
- ・ ALV社の生産能力を活用
- ・ 売上高：9.7億円 (10ヶ月)



メラミン化粧板海外販売 【枚数】前年比 124.0%

建装建材セグメント海外 【売上高】139億円(前年比183.7%)

※AHT社：アイカ・HPL・トレーディング社

※ALV社：アイカ・ラミネーツ・ベトナム社

※HPL：High Pressure Laminate (高圧メラミン化粧板)

1. 2021年3月期 実績

2. 前中期経営計画 C&C2000 の振り返り

3. 新中期経営計画 Change&Grow2400 の策定

4. 2022年3月期 計画

【参考】 研究開発費、減価償却費、設備投資の推移

2. 前中期経営計画(2018/3期-2021/3期)の総括



【基本方針】

1. 3つの成長ドライブの追及と実現

- ① AS商品※ 群の拡充による国内基幹事業の成長持続
- ② 次世代を担う注力分野の育成・投資(非建設向け分野、建材未開拓分野)
- ③ ジャパンテクノロジーの海外展開

2. 成長を支える経営基盤強化

【財務目標】

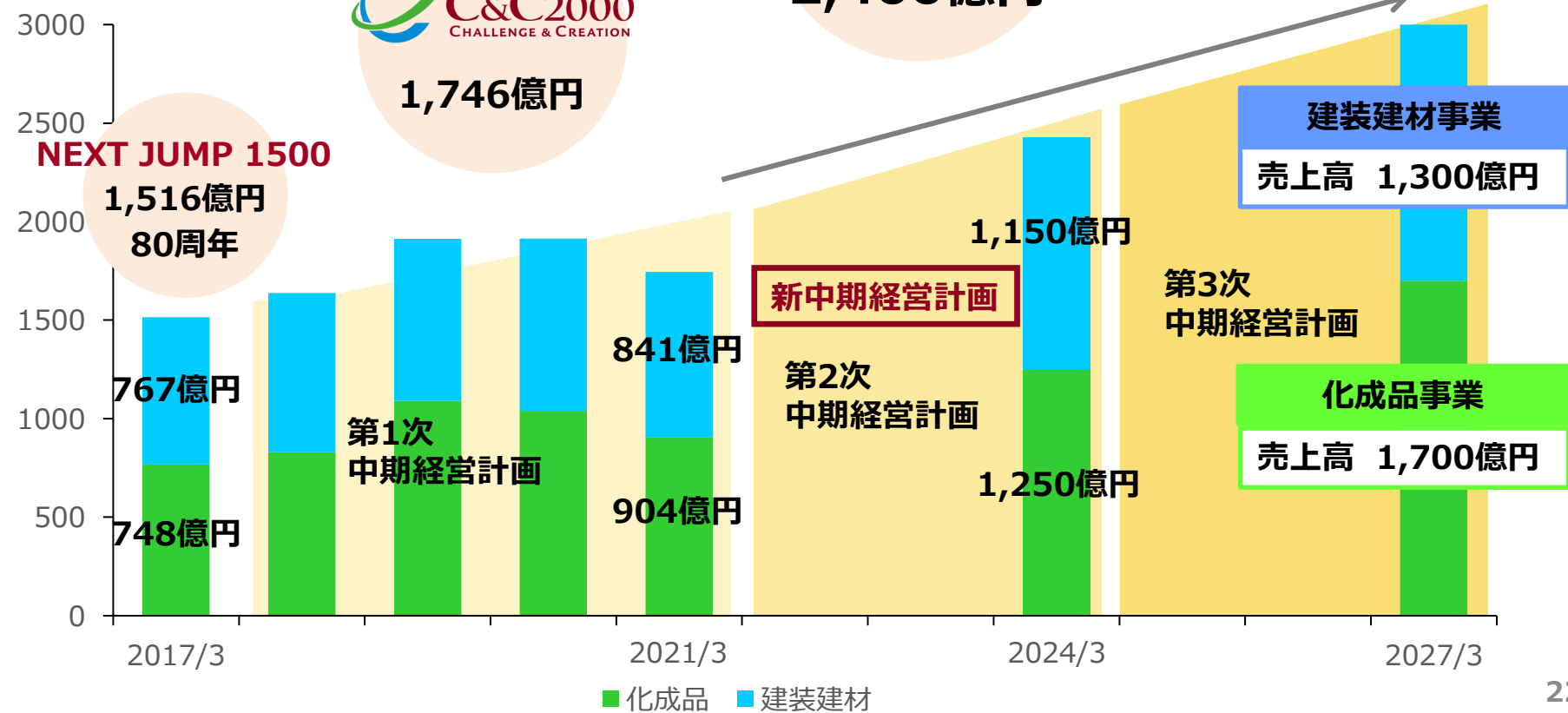
	1年目	2年目	3年目	4年目	4年目
項目	2018/3期 (実績)	2019/3期 (実績)	2020/3期 (実績)	2021/3期 (実績)	2021/3期 (当初計画)
売上高	1,637億円	1,913億円	1,915億円	1,746億円	2,000億円
経常利益	196億円	212億円	213億円	184億円	220億円
ROE	10.1%	10.7%	9.9%	8.1%	10%以上
海外売上比率	33.4%	42.0%	40.7%	42.7%	35%以上

※AS商品 : AICA Solution商品の略。様々な社会課題を解決する商品

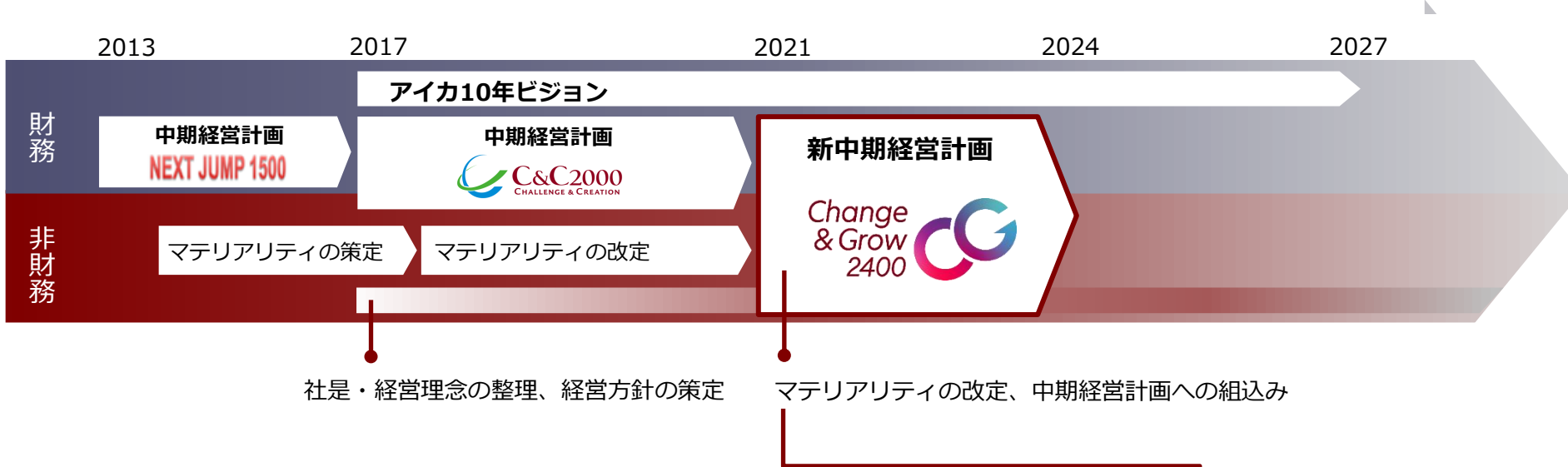
1. 2021年3月期 実績
 2. 前中期経営計画 C&C2000 の振り返り
 - 3. 新中期経営計画 Change&Grow2400 の策定**
 4. 2022年3月期 計画
 5. 化成品セグメント 海外 設備投資・事業投資
- 【参考】 研究開発費、減価償却費、設備投資の推移**

3. アイカ10年ビジョンと新中期経営計画

連結売上高
[億円]



方針骨子



[新中期経営計画基本方針]

① 成長事業の創出・拡大

- AS商品の拡販
- 非建設分野向け事業の拡大
- 海外の成長

用途・事業領域の拡大

シナジーの創出拡大、R&D機能の強化

② 利益基盤の強化

- 物流網、販路の最適化
- 営業基盤強化、ブランド構築
- 自動化、コストダウン、生産効率アップ、生産基盤の最適化

③ 左記を支える経営基盤の強化

- ガバナンスの強化
- 気候変動問題への対応
- 人材育成、組織強化
- DX推進
- 品質保証
- 労働安全

変化に強いアイカへ

AS商品の拡販



背景

- 依存する国内建設市場の低位推移
- 職人不足・省施工ニーズ拡大
- 消費現場における自動化の進行
- 低炭素型社会への移行
- Afterコロナ時代の生活スタイルの変化

アイカの強み・ビジネスモデル

- 化学×デザインの商品開発力
- 国内建設市場への広範な営業領域



AS商品売上高

155億円 → 210億円



3. 新中期経営計画 方針骨子①成長事業の創出・拡大

非建設分野向け事業+海外事業の成長



背景

- アジア地域の市場成長
- 国内建設市場への依存
- 高品質製品へのニーズ変化
- バイオマス商品、低炭素商品への移行
- Afterコロナ時代の生活スタイルへの変化

アイカの強み

- 樹脂合成技術・デザイン力
- AAP・EMC・AALHの販路・能力
- 国内で培った技術・ノウハウ
- 日本国内シェアNo.1のブランド

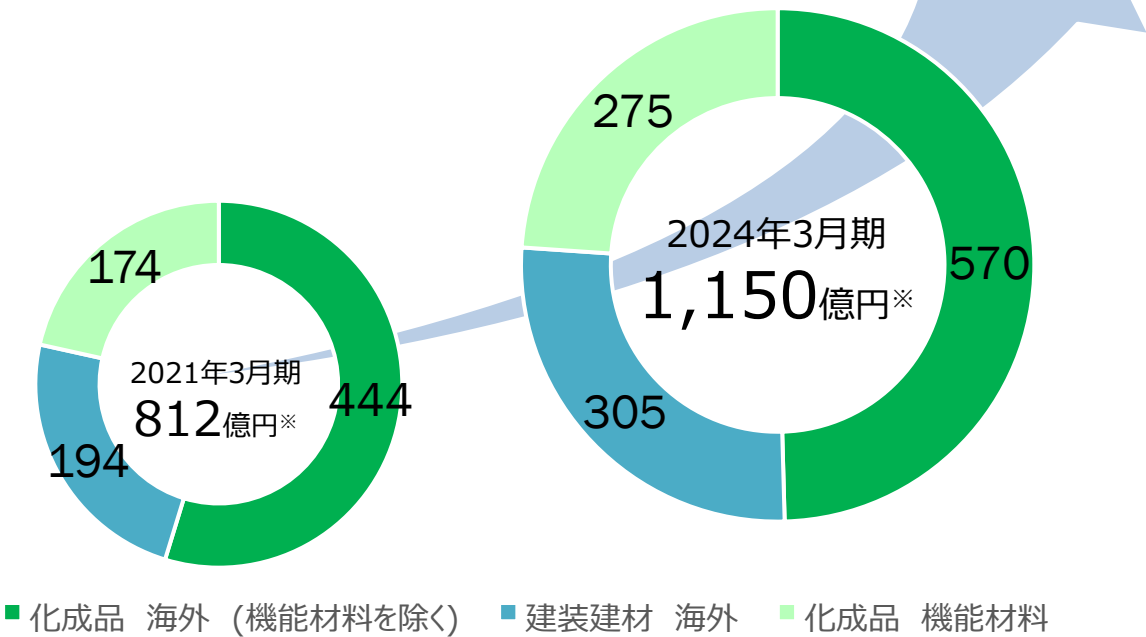
実行すべきこと

- シナジー創出、設備増強、販路拡大
- 海外でのブランド育成
- 次世代の中核大型商品開発
- 非建設分野の成長市場獲得

※連結消去前単純合算売上高

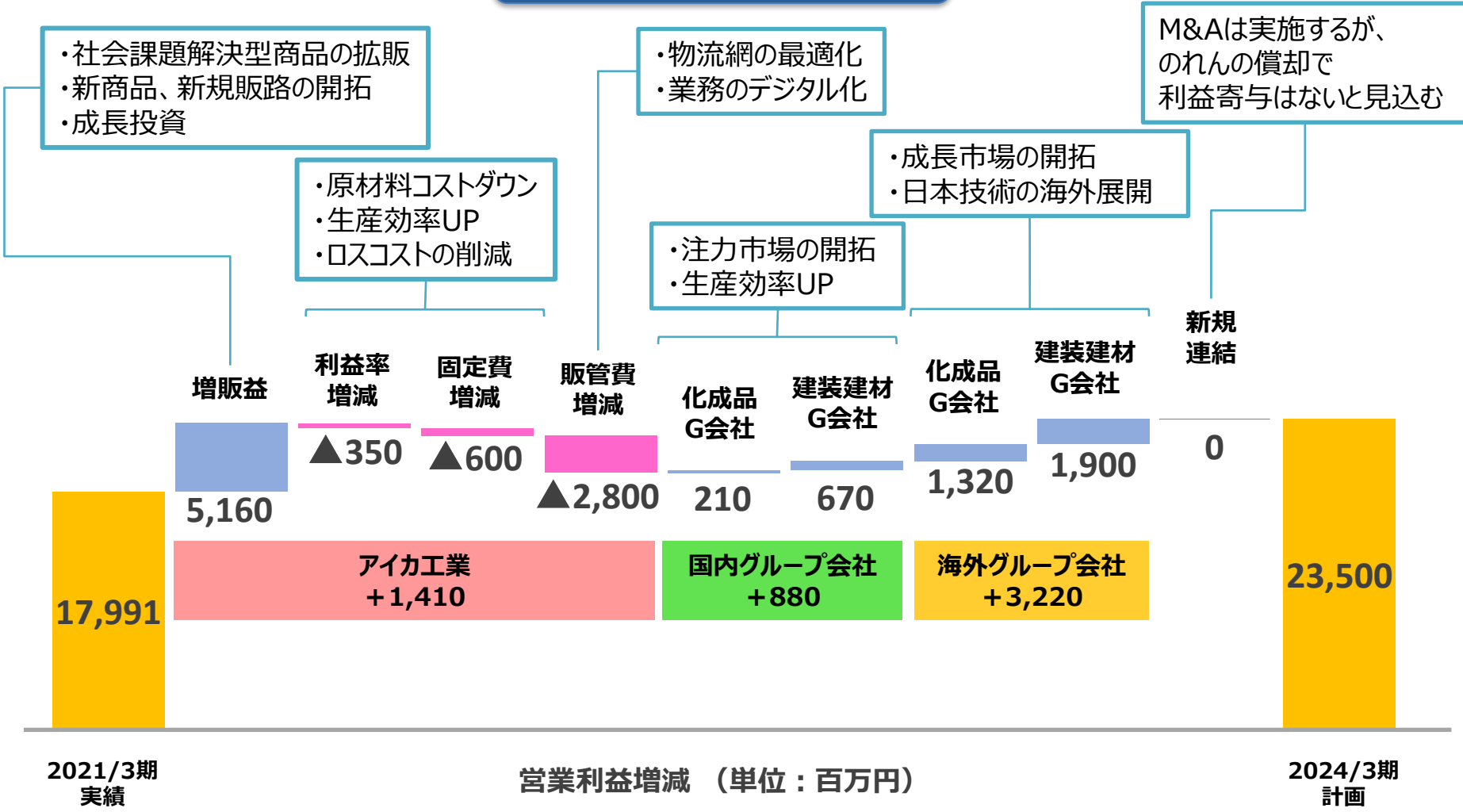
成長事業売上高

3年で1.4倍へ



3. 新中期経営計画 方針骨子②利益基盤の強化

ROE 10%水準の維持



3. 新中期経営計画 方針骨子③経営基盤の強化



【マテリアリティ】

経済価値の提供

商品を通じた社会課題の解決

人材育成・組織強化

DX推進

気候変動対応

ガバナンス強化

品質保証、労働安全

人材育成・組織強化

人材を最も重要な経営資源と捉え、人材マネジメント基盤を整備します。リーダー育成とキャリア形成の支援を行います。

- K・教育・研修費用額の把握、向上
- P・部門別、階層別スキルリストの作成・運用
- I・従業員満足度調査の実施、活用

DX推進

デジタル技術の活用により、生産現場の自動化、データの蓄積と活用による業務効率改善などに取り組み、企業の競争力を高めます。

- KPI・自動化・省人化に資する設備投資額、情報化投資額3年累計8億円以上

気候変動対応

気候変動のリスクと機会を的確に捉え、2050年排出ゼロに向けた抜本的な温室効果ガス削減策を検討するとともに、BCP対策を強化します。

- ・GHG※1排出量※210%削減（2020年度比）
- K・GHG排出量※32050年実質排出ゼロを目指した施策立案。
- P・GHG排出量Scope3算定方法確立、削減に向けた施策立案
- I・産業廃棄物排出量※110%削減（2020年度比）
- ・ハイリスクエリアにおける水使用量※16%削減（2020年度比）

ガバナンス強化

ガバナンスの更なる強化に向け、グループ会社の管理・監督、権限移譲の実効性を高めます。またリスクマネジメントの深化を図ります。

- KPI・BCP強化(異常気象、天災対策)
- ・1回以上/年のBCP訓練実施、新規連結工場拠点のBCP策定
- ・グループガバナンスルール拡充
- ・セキュリティ強化に資する情報化投資額 3年累計3億円以上

品質保証、労働安全

現場教育やチェック体制を強化し、市場の要求や法令、規制、手順を遵守するといった、基本をおろそかにしない企業風土を醸成します。

- K・顧客満足度調査に基づく品質改善
- P・休業災害件数 前年以下
- I・部門別研修制度の確立と運用

※1：温室効果ガス(Green House Gas)
※2：売上高原単位
※3：Scope1+2総量

Change & Grow
2400



	前中計		新中計3年目
項目	2021/3期 (実績)		2024/3期 (計画)
ROE	8.1%		10%を目処
海外+機能材料 売上高※	812億円		1,150億円
AS商品売上高※	155億円		210億円
経常利益	184億円		240億円
売上高	1,746億円		2,400億円



※連結消去前単純合算売上高

3. 新中期経営計画 投資計画

投資規模

設備投資	230億円	▶ 生産能力増強、生産体制最適化、自動化、DX対応、気候変動対応、BCP対応
事業投資	170億円	▶ 新規市場・新規事業領域への参入、技術基盤の拡充
研究開発費	120億円	▶ 次世代基幹商品の開発・開発力の強化
人材投資	▶	多様な人材の開発、個人のスキルアップとスキル開発

基本方針の実現に向けて積極的に投資を実行（2021～2023年度累計）

3. 新中期経営計画 配当方針について



今中期経営計画配当方針：

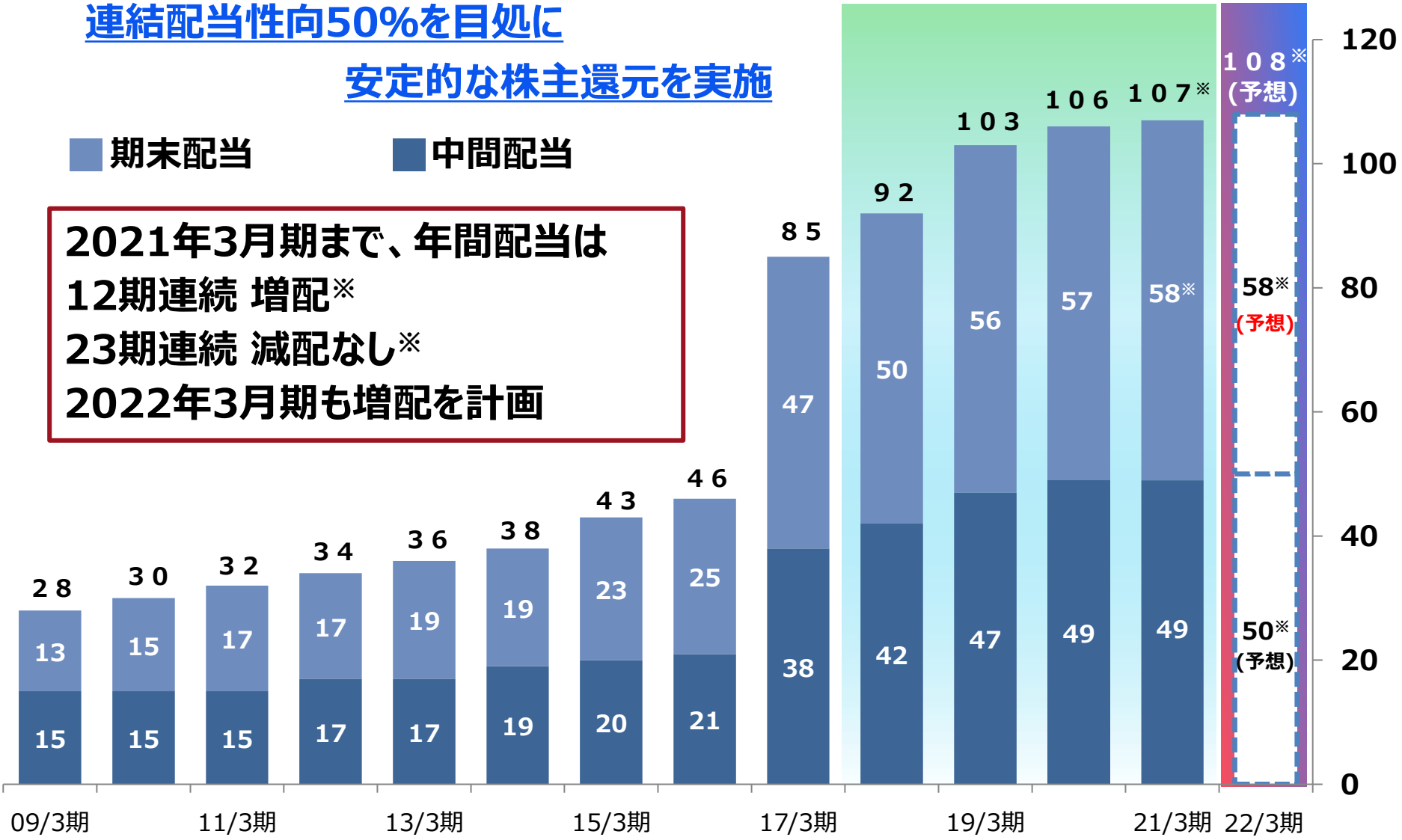
連結配当性向50%を目処に

安定的な株主還元を実施



■ 期末配当 ■ 中間配当

2021年3月期まで、年間配当は
12期連続 増配※
23期連続 減配なし※
2022年3月期も増配を計画



※2021年3月期の配当は、正式には6月開催予定の株主総会で決定します。2022年3月期の配当は、現時点の予想値です。

1. 2021年3月期 実績

2. 前中期経営計画 C&C2000 の振り返り

3. 新中期経営計画 Change&Grow2400 の策定

4. 2022年3月期 計画

【参考】 研究開発費、減価償却費、設備投資の推移

国内建設市場

※アイカ需要期へタイムラグ調整済み

2021年3月期（実績）	住宅：▲9.3%	非住宅：▲9.1%
2022年3月期（予測）	住宅：▲1.2%	非住宅：▲5.4%

海外市場

アジア・オセアニア地域の堅調な経済成長を想定

建設分野：工業用樹脂の需要拡大

メラミン化粧板の需要拡大

非建設分野：経済成長に伴う接着剤の需要拡大

為替換算レート

※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は僅か

2021年3月期（実績）	1USD = 106.67円
2022年3月期（想定）	1USD = 105.00円

国産ナフサ価格

※すべての原材料がナフサに連動するわけではありません

2021年3月期（実績）	33,000円/kl
2022年3月期（想定）	43,000円/kl

4. 2022年3月期予想

[単位：百万円]

	2021／3期 実績		2022／3期 予想			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増加額
売 上 高	174,628	-	200,000	-	114.5%	25,372
営 業 利 益	17,991	10.3%	21,000	10.5%	116.7%	3,009
経 常 利 益	18,438	10.6%	21,400	10.7%	116.1%	2,962
当期純利益※	10,759	6.2%	13,000	6.5%	120.8%	2,241
R O E	8.1%	-	9.4%	-	-	-
R O A	5.2%	-	6.1%	-	-	-
一株当たり純利益	164.79円	-	199.10円	-	-	-
一株当たり株主資本	2,064.24円	-	2,155.00円	-	-	-
研 究 開 発 費	33.2億円	-	35.0億円	-	-	-
減 価 償 却 費	56.8億円	-	60.0億円	-	-	-
設 備 投 資 額	61.1億円	-	80.0億円	-	-	-

※親会社株主に帰属する当期純利益

4. 2022年3月期 通期セグメント別計画

[単位：百万円]

	売上高			営業利益			
	2021/3期 実績	2022/3期 計画	差異	2021/3期 実績	2022/3期 計画	差異	
化成品	90,446	102,000	11,554	7,109 7.9%	8,000 7.8%	891 0.0%	金額 利益率
建装建材	84,182	98,000	13,818	13,752 16.3%	17,000 17.3%	3,248 1.0%	金額 利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 2,869	▲ 4,000	▲ 1,131	金額
合計	174,628	200,000	25,372	17,991 10.3%	21,000 10.5%	3,009 0.2%	金額 利益率

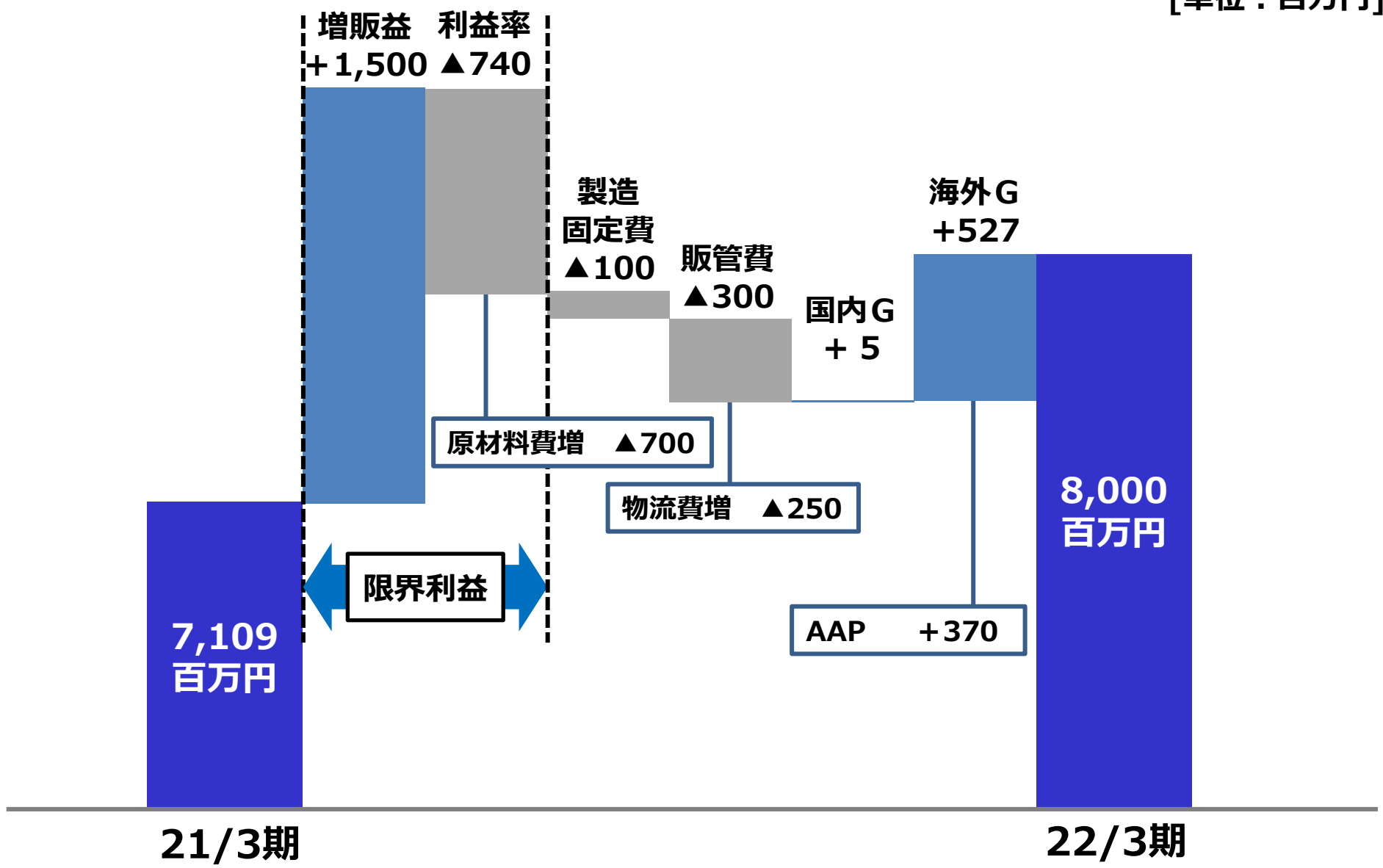
4. 2022年3月期 上半期セグメント別計画

[単位：百万円]

	売上高			営業利益			
	2020/9期 実績	2021/9期 計画	差異	2020/9期 実績	2021/9期 計画	差異	
化成品	41,212	47,700	6,488	2,482	3,200	718	金 額
				6.0%	6.7%	0.7%	利 益 率
建装建材	36,714	45,800	9,086	4,912	7,800	2,888	金 額
				13.4%	17.0%	3.7%	利 益 率
(配賦不能営業費用→)				▲ 1,317	▲ 2,000	▲ 683	金 額
合計	77,927	93,500	15,573	6,077	9,000	2,923	金 額
				7.8%	9.6%	1.8%	利 益 率

4. 利益増減計画（化成品） 〈21/3期vs.22/3期〉

配賦不能営業費用控除前営業利益
[単位：百万円]



4. 化成品セグメント 商品群別売上計画

		2021／3期（実績）		2022／3期（計画）			
		上半期	通期	上半期	伸率	通期	伸率
接着剤		253.8億円	543.2億円	285.5億円	12.5%	610.0億円	12.3%
	AAP	195.9億円	420.2億円	223.0億円	13.8%	480.0億円	14.2%
建設樹脂		40.1億円	86.3億円	45.5億円	13.5%	95.0億円	10.0%
機能材料		70.5億円	168.1億円	93.5億円	32.6%	207.5億円	23.4%
その他		47.5億円	106.7億円	52.5億円	10.5%	107.5億円	0.7%
合計		412.1億円	904.4億円	477.0億円	15.7%	1,020.0億円	12.8%

※AAP：アイカ・アジア・パシフィック

4. 化成品セグメント 方策（接着剤海外）

M&Aシナジーの創出

アドテック社買収によるホットメルト接着剤事業の拡大

アイカグループ ホットメルト生産拠点



企 業 名	Adtek Consolidated Sdn Bhd
取 扱 品 目	衛生材用HM、グルースティック、産業用HMの製造販売
代 表 者	Pai Hsing Chou (Executive Director)
所 在 地	マレーシア・セランゴール州
設 立 年 月 日	2017年9月29日
資 本 金	42百万リンギット(約11.1億円)
売 上 高	112百万リンギット(2019/12期、約29.7億円)
従 業 員 数	135名(2021年2月時点)
持 株 比 率	AAPH 70% (取得価額:28百万米ドル)

HM:ホットメルトの略 1リンギット=26.6円にて計算

両社の比較

	用途	種類	生産能力
AICA	自動車 建材 衛生材	ブチルゴム系、EVA系 MPO系、PSA系 エラストマー系、PUR系	約 1.7 万トン
ADTEK®	パッケージ スティック 衛生材	EVA系、MPO系 PSA系、APAO系	約 3.5 万トン

接着剤海外 通期売上計画：480億円（対前年 114.2%）

ホットメルトビジネスの拡大 M&Aシナジー創出

4. 化成品セグメント 方策（接着剤海外）

① ダイネア南京のフェノール樹脂工場建設

事業対象会社	ダイネア南京
事業内容	フェノール樹脂の製造・販売
設備投資内容	①レゾール型フェノール樹脂の新工場建設 ②ノボラック型フェノール樹脂の新工場建設
設備投資額	252百万人民元（約42.6億円）
スケジュール	2021年 9月 設備投資開始 2022年11月 操業開始



【目的】

- ①生産能力向上
⇒中国のフェノール樹脂需要取り込み
- ②AAPとしての新規参入
⇒事業拡大

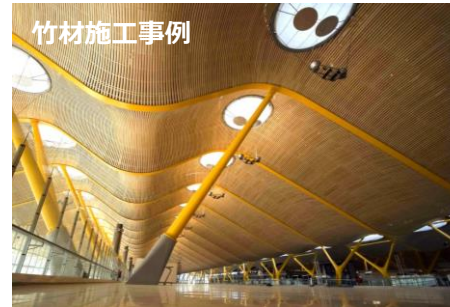
約42億円投資
中国フェノール樹脂事業の拡大

4. 化成品セグメント 方策（接着剤海外）

② 竹材用フェノール樹脂工場の新規建設

事業対象会社	アイカ福建
設立	2020年10月27日
資本金	20百万人民元 (約3.3億円)
設備投資内容	竹材用フェノール樹脂の新工場建設
設備投資額	135百万人民元 (約22.8億円)
スケジュール	2021年 9月 設備投資開始 2022年11月 操業開始

AAP中国の竹材用フェノール樹脂拡大
2020年売上実績 22.9億円(前年比120%)
⇒ 需要の取り込み



竹材施工事例

©dasso Group



竹材施工事例

©dasso Group

③ ダイネア広東の移転

事業対象会社	ダイネア広東
設備投資内容	ダイネア広東の移転
設備投資額	224百万人民元 (約38.0億円)
スケジュール	2021年 6月 設備投資開始 2022年 7月 操業開始

- ・BCP対策 ⇒ 市街地から移転
- ・生産能力向上 ⇒ 約2倍

3つの設備投資案件：計 103億円
フェノール樹脂ビジネスの拡大

4. 化成品セグメント 方策（接着剤国内・建設樹脂）

接着剤国内

フェノール樹脂事業の拡大

- ・ DICのフェノール樹脂事業の一部を譲受
- ・ 接着剤用、摩擦材用、砥石用途

新市場の拡販（AAPシナジー）

建材用ホットメルトの拡販（エバモア社シナジー）

建設樹脂

透湿外断熱システム パッシブウォール®



省エネ

長寿命化

水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材 ピュールハード ドーデンA H工法



変色抑制

収縮抑制

帯電防止

コンクリート片はく落防止工法 クリアタフレジックイック1500



省施工・短工期

接着剤国内

通期売上計画：130億円

（対前年 105.7%）

建設樹脂

通期売上計画：95億円

（対前年 110.0%）

4. 化成品セグメント 方策（機能材料）

■ UVコーティング事業の拡大（DSMコーティング・レジン社）



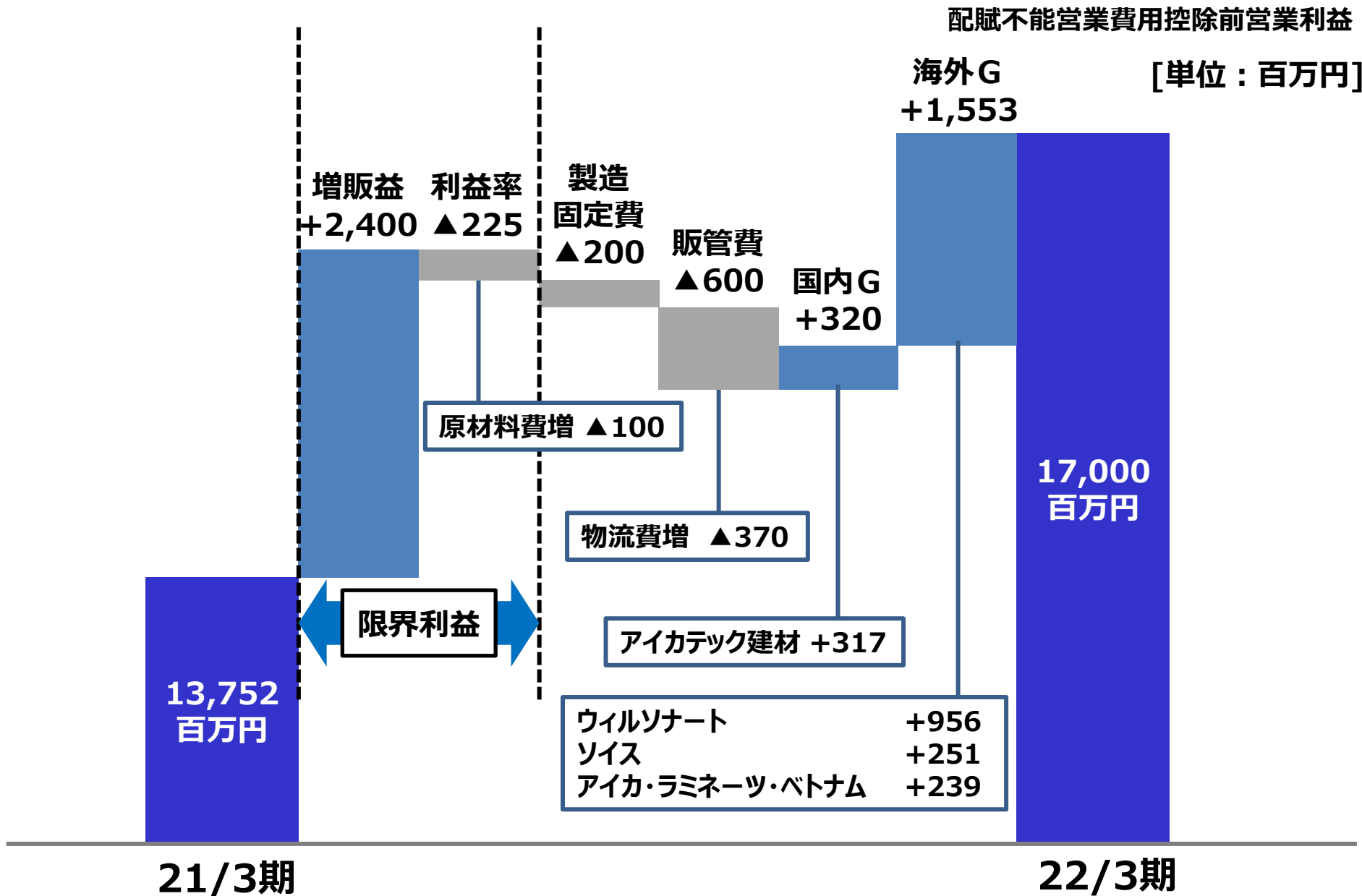
買 収 対 象	DSMコーティング・レジン社の大園工場(土地・建物・設備・無形固定資産) および、それに付随するオーバープリントワニス用UV硬化型コーティング剤事業
所 在 地	台湾・桃園市
工 場 設 立	1977年6月
対象事業売上高	約11.7億円 (2019年12月期)
従 業 員 数	42名 (2021年2月時点)
買 収 金 額	387.5百万台湾ドル (約1,395百万円)
出 資 比 率	エバモア社 100%
事 業 譲 渡 予 定	2021年6月末予定

※ 1 台湾ドル = 3.6円にて計算

目的：UV硬化型樹脂事業の拡大

- ・ **エバモア社**はUVコーティング剤の**原料**を**生産**
- ・ 大園工場を手に入れ、**オーバープリントワニス事業**へ進出
- ・ **台湾・東南アジア**を中心に**販路獲得**
- ・ **UV配合ノウハウ**取得、**原料コストダウン**シナジー創出

機能材料事業 通期売上計画：207億円（対前年 123.4%）



4. 建装建材セグメント 商品群別売上計画

	2021／3期（実績）		2022／3期（計画）			
	上半期	通期	上半期	伸率	通期	伸率
メラミン化粧板	96.7億円	242.2億円	139.5億円	44.3%	306.5億円	26.5%
ボード フィルム等	48.7億円	111.9億円	59.0億円	21.1%	127.0億円	13.5%
セ ラ ー ル	86.8億円	191.9億円	103.8億円	19.6%	219.3億円	14.3%
不 燃 建 材	35.3億円	82.3億円	44.0億円	24.6%	96.0億円	16.6%
カ ウ ン タ ー ポストフォーム	76.4億円	164.7億円	91.7億円	20.0%	193.7億円	17.6%
建 具 インテリア 建 材	22.9億円	48.6億円	20.0億円	▲12.8%	37.5億円	▲23.0%
合 計	367.1億円	841.8億円	458.0億円	24.8%	980.0億円	16.4%

4. 建装建材セグメント 方策

AS商品の拡販

機能例

- ・ 抗ウイルス
- ・ 簡易施工、省力化、軽量化
- ・ 安心、安全
- ・ 高機能
- ・ ユニバーサルデザイン
- ・ SDGs対応
- ・ etc...

対象商品例

- ・ ウイルテクト
- ・ メラタック
- ・ セラール
- ・ 消臭セラール
- ・ メラフロントブース
- ・ モイス
- ・ etc...

×

販売戦略

- ・ 伸長分野に注力

戸建住宅

学校改修

- ・ トータル提案

壁面

天井

什器

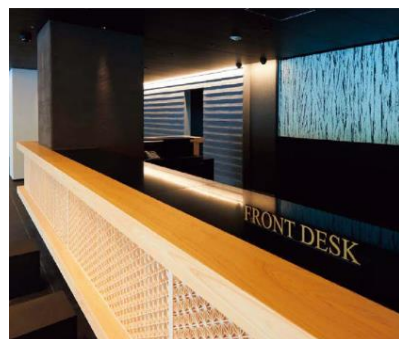
床

建装建材セグメント 通期売上計画 : 980億円 (対前年116.4%)
A S 商品・機能性の拡充

4. 建装建材セグメント 方策

加工品ビジネスの拡大

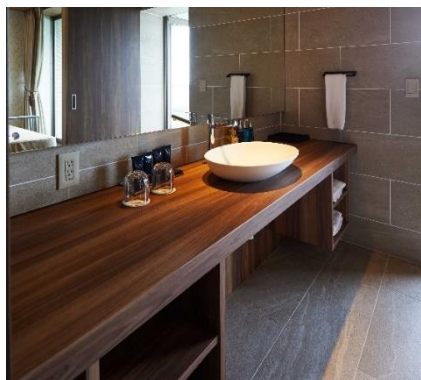
カウンター・ポストフォーム 需要堅調



高級人造石
フィオレストーン



大板セラミックタイル
ラミナム



ポストフォームカウンター

人造石加工品 設備増強投資



【アイカインテリア工業 茨城工場】

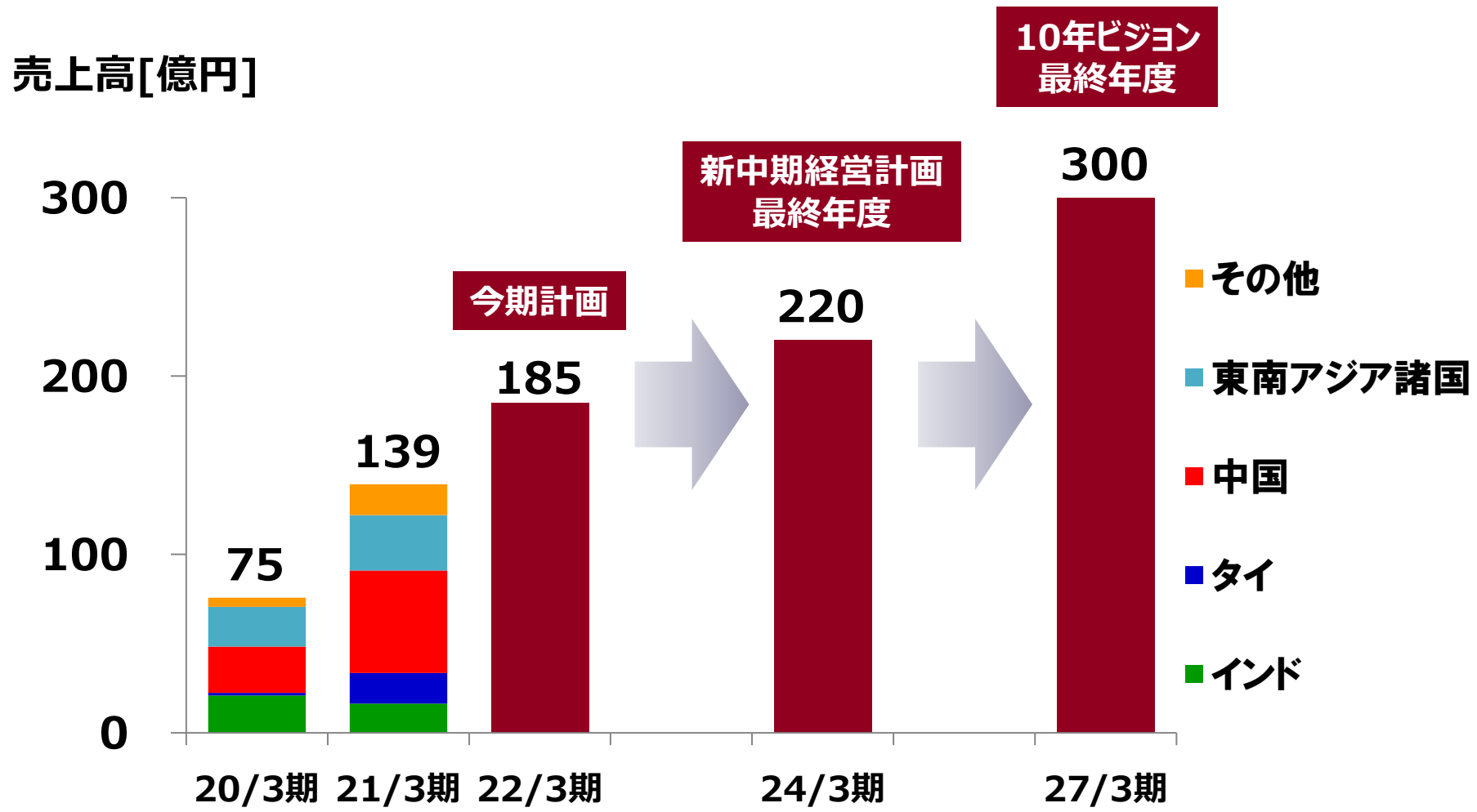
- ・ フィオレストーン、ラミナムの増産体制構築
 - ・ 設備投資額 1.6億円
- ⇒ 生産能力 約1.4倍に

カウンター・ポストフォーム 通期売上計画 : 193億円 (前年比117.6%)

4. 建装建材セグメント 方策（海外）



4. 建装建材セグメント 計画（海外）



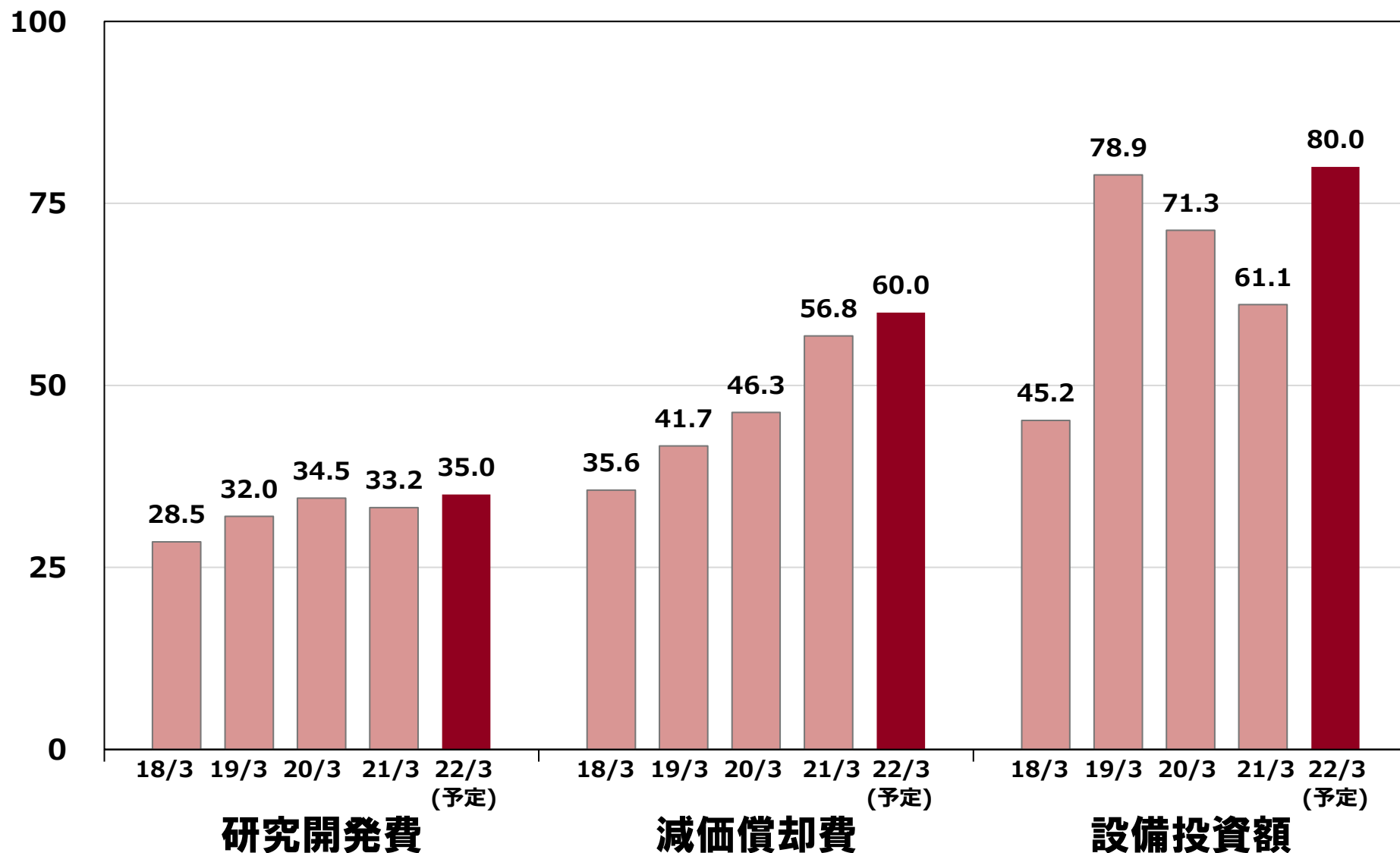
【海外建装建材事業売上高】 21/3期実績 139億円 今期計画 185億円
新中計最終年度 220億円 10年ビジョン最終年度 300億円

1. 2021年3月期 実績
2. 前中期経営計画 C&C2000 の振り返り
3. 新中期経営計画 Change&Grow2400 の策定
4. 2022年3月期 計画

【参考】 研究開発費、減価償却費、設備投資の推移

【参考】研究開発費・減価償却費・設備投資の推移

【億円】





アイカ工業株式会社